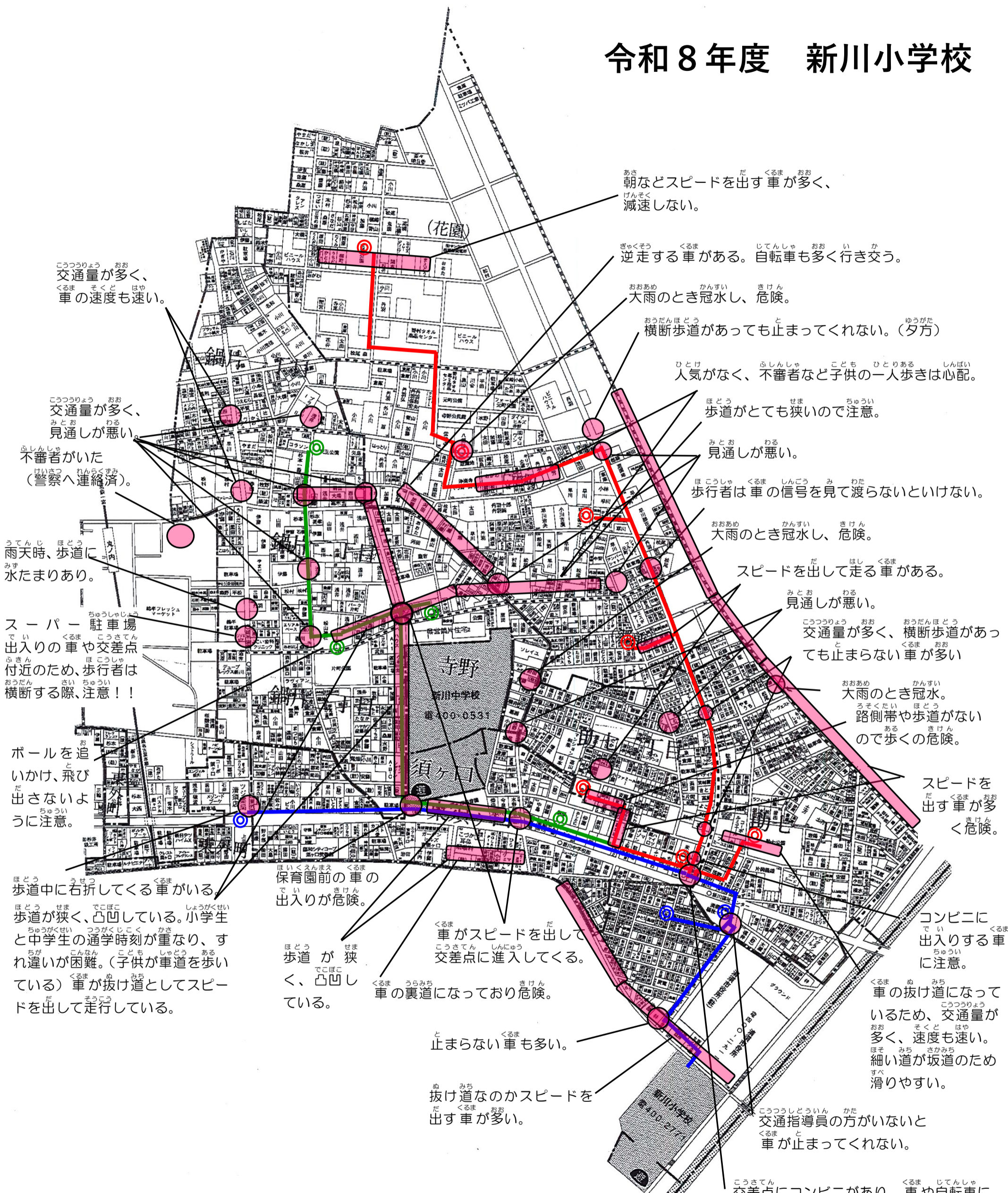


令和8年度 新川小学校



あさ朝などスピードを出す車が多く、げんまく減速しない。

ぎやくそく逆走する車がある。自転車も多く行き交う。

おおあめ大雨のとき冠水し、危険。

おうだんほどう横断歩道があっても止まってくれない。(夕方)

ひとけ人気がなく、不審者など子供の一人歩きは心配。

ほどう歩道がとても狭いので注意。

みとお見通しが悪い。

ほこうしゃ歩行者は車の信号を見て渡らないといけない。

おおあめ大雨のとき冠水し、危険。

スピードを出して走る車がある。

みとお見通しが悪い。

こうつうりょう交通量が多く、横断歩道があっても止まらない車が多い

おおあめ大雨のとき冠水。ろそくたい路側帯や歩道がないので歩くの危険。

スピードを出す車が多く危険。

コンビニに出入りする車に注意。

くるま車の抜け道になっているため、交通量が多く、速度も速い。ほそ細い道が坂道のためすべ滑りやすい。

こうつうしどういん交通指導員の方がいないと車が止まってくれない。

こうさてん交差点にコンビニがあり、車や自転車に巻き込まれる可能性がある。実際に巻き込み事故あり。

こうつうりょう交通量が多く、くるま車の速度も速い。

こうつうりょう交通量が多く、みとお見通しが悪い。

ふしんしや不審者がいた(警察へ連絡済)。

うてんじ雨天時、歩道にみず水たまりあり。

ちゆうしやスーパー駐車場出入りの車や交差点付近のため、歩行者は横断する際、注意！！

おボールを追いかけて、飛び出さないように注意。

ほどう歩道中に右折してくる車がいる。

ほどう歩道が狭く、凸凹している。小学生と中学生の通学時刻が重なり、すれ違いが困難。(子供が車道を歩いている)車が抜け道としてスピードを出して走行している。

ほいくえんまえ保育園前の車の出入りが危険。

ほどう歩道が狭く、凸凹している。

くるま車の裏道になっており危険。

くるま車がスピードを出して交差点に進入してくる。

とまらない車も多い。

ぬ抜け道なのかスピードを出す車が多い。

㊦ 通学団会議や学級で先生から言われていることを守って、分団ごとにまとめて通学しましょう。(とくに下校のとき) 走って帰るのは、とても危険なのでやめましょう。

安全マップ

新川小学校PTA

コンクリートの階段の高さがあるのに手すり等がないので危険。

堤防下は人通りが少ないので注意。

登校時に新川橋駅の踏切を避けるためか堤防下通路をバイクが通行し、危険。

一旦停止無視の車が多い。

ポンプ場の角が死角になって(坂の上から)右折してきた車や自転車から子供が見えない。また、車や自転車のスピードが速い。

路上駐車が多い。

止まってくれない車が多い。ミラーが見にくい。

逆走の車あり(スピードが速い)。

文造寺の交差点は、車通りが多い上に道幅が狭くて歩行者や自転車が止まって待つ場所がないので危険。

ミラーが見にくく、走っている子どもと自転車とぶつかりそう。

天水公園の近くの交差点で、一時停止なのに止まらない車があるので危険。

天水公園は小さい子供がよく集まる公園です。車通りが多く、スピードを出して危険。車道と歩道の区別がなく、夕方など子供の飛び出しや自転車で広がって走っている。たまにバスが停車している。

止まってくれない車が多い。

月読社の前は一時停止になっているにもかかわらず、ものすごいスピードで走り、止まらない車が多い。

堤防からおりてくる車と自転車の出会い頭の事故がおきやすい。

トラックが飛び出てきて危ない。

衝突事故あり。ものすごいスピードで走り、止まらない車が多い。

※ 台風時や大雨のときなど、新川の水位は、学校は常に確認しており、危険な時は先生が現場に行き、子供達を誘導しています。上の道を通すときはメールでも連絡します。可能な方は見守りをお願いします。

歩道がなく、車通りが多い。車道も広くないので危険。

① 堤防下から上がってくるとき、ショートカットしてなまめに坂を登ってくる児童あり。柵をくぐって登って危険です。地域の方の注意を聞きましょう。

道幅が狭く歩道もないが交通量が多い。

下校時、坂を登ってくる車と坂を下りる子供が接触する可能性があり危険。

歩道橋は、雨の日、雪の日は大変すべりやすい。交通量が多い。

工場のため、家が少なく、距離が長い。歩道が細く道がガタガタしているので注意。

中河原、下河原の通学路に歩道と車道の間にガードレールがない箇所があるので注意。スピードを出す車が多く危険。

シャトレから土器野の歩道橋までの歩道が狭く、雨の日など傘がガードレールに引っかかったり、道路に水がたまって、子供達に車の水しぶきがかかったりする。

夏は草がはえて歩道が通りにくいため、車道に出る危険性がある。

暑い時期になると、巣があるのか蜂のような虫がいて怖い。

② 集合場所でも、まとまって過ごしましょう。

通学路が広い場所も狭い場所もバラバラにならないように、並んで歩きましょう。道に広がると危ないし、他の方の迷惑にもなります。気を付けましょう。

皆さんのおかげで、令和8年度版の安全マップができました。危険箇所を確認することで、安全に気を付けて過ごせることを願っています。

ご家庭でもぜひ、話題にさせていただき、子ども達の意識が高まるとよいと思います。